

冬空に上がった 突然の花火が、 人々の心を温めた

Surprise Fireworks Illuminate Uchiko's Sky

11月20日、午後7時30分――

突然の大きな音とともに夜空を彩る花火が上がり、多くの町の人たちを驚かせました。

約10分間のサプライズ花火を届けたのは、商工会青年部を中心とした「内子秋の花火実行委員会」の皆さん。子どもたちの笑顔を見たいという思いで企画しました。実行委員長の米田陽一郎さんは「コロナ禍でも子どもたちのために何かしたい。そんな思いに多くの人が賛同してくれて実現できた。2年間もイベントができなかったもので、この花火が少しでもいい思い出として、子どもたちの心に残ればうれしい」と思いを語ります。

この日、多くの人が同じ空を見上げました――。大変な時期でも誰かを思いやる、そんな優しい光が心を温かくしてくれました。密を避けるために十分な周知はできませんでしたが、関係者の思いが皆さんの心に届くことを願います。

企画した内子町商工会青年部の皆さん、
安全を確保した消防署や消防団員、警察署の皆さん、
協賛してくれた企業の皆さん、
すてきなサプライズをありがとうございました。
やっぱり内子町はサイコーの町です！